

学年・教科・担当者	2年 技術・家庭 家庭分野	安井 知香
-----------	---------------	-------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	6	2-1 衣生活と自立 ・既製服の選択と購入 ・衣服の手入れ ・よりよい衣生活を目指して 1-2 献立作りと食品の選択 ・食品に含まれる栄養素 ・6つの食品群 ・食品別摂取量の目安	○表示を正しく読み取って既製服を選ぶことができる。 ○衣服の材料や状態に応じて適切な手入れができる。 ○環境や資源に配慮した衣生活をおくるための課題を見つけることができる。 ○身近な食品の中で栄養的な特徴を調べることができる。 ○身近な食品を6つの食品群に分類することができる。 ○食品群別摂取量の目安と1日に必要な食品の種類と概量が分かる。
	7	・1日分の献立	○必要な栄養素を満たす1日分の献立を考えることができる。
2	8	・生鮮食品と加工食品 ・食品の選択と購入 ・食品の保存と食中毒の防止	○生鮮食品と加工食品の特徴について理解することができる。 ○身近な食品の品質を見分けることができる。 ○用途に応じて食品を適切に選択することができる。 ○食品を適切な方法で保存することができる。 ○食中毒の防止について考えることができる。
	9	1-3 調理と食文化 ・日常食の調理（肉、野菜）	○安全と衛生に気をつけて日常食を <u>家庭でも</u> 調理することができる。 ○食品の調理上の性質を知り、適切に <u>家庭でも</u> 調理することができる。
	10	2-3 生活を豊かにするために	○布を使った製作物（エコバッグ）の計画を立てて作ることができる。
	11	・生活を豊かにする工夫	○布を使った製作物を活用し生活を豊かにできる。
	12	・製作の計画 ・布を用いた物の製作	
3	1	4-1 私たちの消費生活 ・消費者としての自覚	○自分や家族の消費生活を振り返ることができる。 ○契約について理解できる。
	2	・販売方法と支払い方法	○様々な販売方法を支払い方法の特徴について理解できる。
	3	・商品の選択と購入 ・消費者トラブル ・消費者の権利と責任 ・よりよい消費生活を目指して	○商品を適切に選択、購入、活用することができる。 ○身近な消費者トラブルの事例と解決方法を理解できる。 ○消費者の権利と責任について理解できる。 ○消費者としての自覚を高め、よりよい消費生活について考えることができる。

評価について	
評価の観点	評価の方法
①生活や技術への関心・理解・態度 生活や技術について関心をもち、進んで実践しようとする。	授業中の観察、ワークシート、レポートなど
②生活を工夫し創造する能力 生活を見直し課題解決を目指し工夫し創造している。	ワークシート、定期テスト、レポート作品、実習記録カードなど
③生活の技能 生活に必要な基礎的・基本的技術を身につけている。	ワークシート、定期テスト、レポート作品、実習記録カードなど
④生活や技術についての知識・理解 生活に必要な技術を身につけ生活と技術の関わりを理解している。	ワークシート、定期テスト、レポートなど